

国際アート・カルチャー都市構想実現戦略

# 基本方針

まち全体が舞台の  
誰もが主役になれる 劇場都市

◆アート・カルチャーとは

「芸術文化」という言葉で一般的にイメージされる枠組みを超え、伝統的な文化から先端的な文化まで、衣食住に関わる生活文化からハードな都市づくりまでをも含み、アートの持つ想像力・創造力で、カルチャーの語源そのままに、まちを耕すことを意味します。

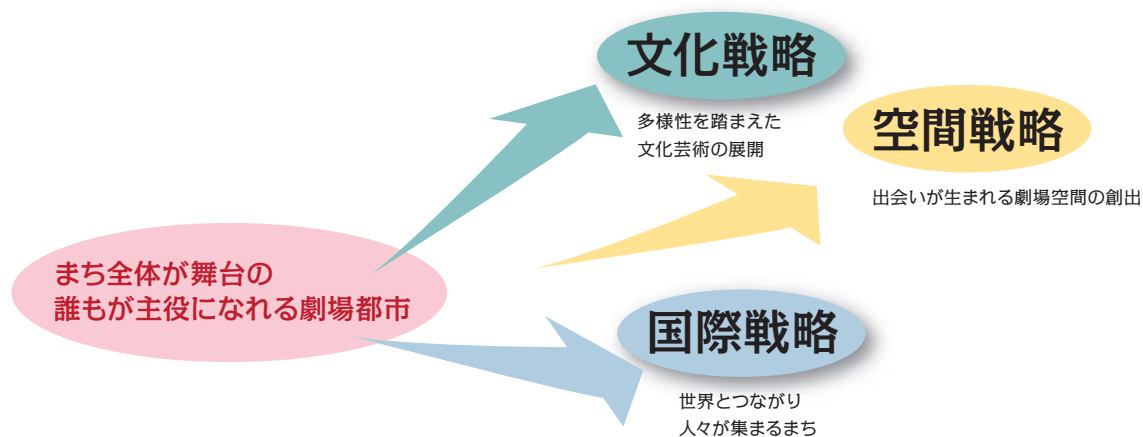
まちを構成する多様な人々の参加と協働により、アート・カルチャーのまちづくりを展開していくことで、世界中の人々を魅了し、持続発展する都市の実現を目指します。



## 1. 3つの戦略で目標実現へ

### 国際アート・カルチャー都市構想の目標

豊島区を持つ「アート・カルチャーの魅力」、伝統的な文化から先端的な文化まで、衣食住に関わる生活文化からハードな都市づくりまでをも含み、アートの持つ想像力・創造力の魅力を国内外に発信していくことにより、都市イメージの向上を図ります。それによって、**居住者や来街者が増加し、地域経済の活性化**に資することとなります。豊島区が区民はもとより区外の人からも「選ばれるまち」になることにより、地域への誇りや愛情を醸成し、豊島区を愛する人々が、魅力をさらに発信し、**人と産業を惹きつける好循環を創出**します。



## 2. 基本的な考え方

豊島区は下記の基本的な考え方に基づき、都市構想の実現を図っていきます。

- ① 豊島区がもつ多様な資源・個性・ポテンシャルを十分に活かし、公民が連携して民間が力を最大限発揮することにより、都市構想の実現を図っていきます。
- ② 区は、民間が力を発揮できるよう環境整備に努め、限られた財源を選択と集中により、効果的に投資していきます。
- ③ 国際アート・カルチャー特命大使をはじめとして、あらゆる世代の参画により、オールとしまの体制で取り組みを推進していきます。
- ④ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年を中間目標とし、東アジア文化都市の選定も見据えながら、池袋駅周辺の都市再生事業の進展等も踏まえつつ、戦略を展開していきます。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会

東アジア文化都市

まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市!!

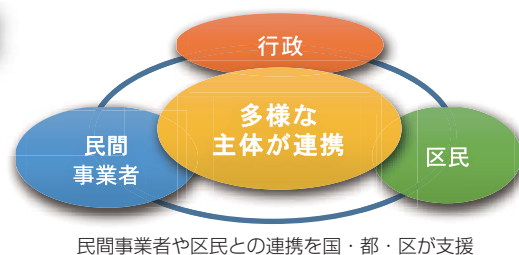
### 3. 国際アート・カルチャー都市を推進する人材・組織

- ①国際アート・カルチャー都市を実現する事業について認定・登録制度を創設します。
- ②認定・登録の実務を担い、国際アート・カルチャー都市の実現を推進する組織を設置します。
- ③推進する組織は、事業を統括する専門人材の登用や文化の担い手となる若手の雇用を図り、将来的に地域版アーツカウンシルとなることを想定します。
- ④アート活動を始めたい、場所を確保したい、空間整備の諸手続きを知りたい等、多様な相談に応じられる窓口を整備します。

### 4. 国際アート・カルチャー都市としま文化プログラムの展開

#### (1) 国際アート・カルチャー都市を象徴するシンボリックな事業

まち全体を舞台に展開し、国際アート・カルチャー都市としまの魅力を発信し、アート・カルチャーを牽引するインパクトあるプログラムを実施します。国・都とも連携し、資源を集中投資し、区が共催等により推進します。



民間事業者や区民との連携を国・都・区が支援

- ・アニメイトガールズフェスティバル・池袋ハロウィンコスプレフェス
- ・新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館・アートオリンピア
- ・障害者アート・フェスティバル/トーキョー

都文化事業等との連携事業

#### (2) 民間主導により、自立的に展開する事業

事業の規模に関わらず、国際アート・カルチャー都市としまの魅力を大きく発信できる民間主体の事業を公民連携により推進し、新たな展開につなげていきます。

#### (3) 国際アート・カルチャーの裾野を広げる文化事業

区民や地域の活動を支え、国際アート・カルチャー都市づくりの趣旨に賛同した人たちが参加できる事業を推進します。地域生活に根差した誰もが手の届くアート・カルチャーを広げていきます。

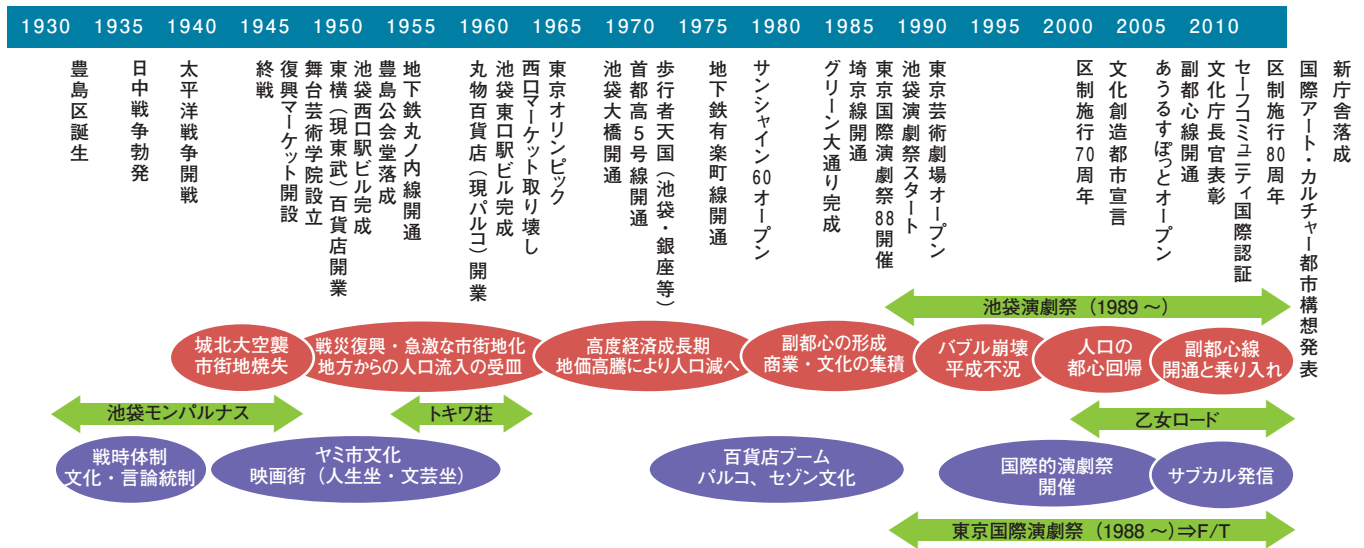
# 5. 3つの戦略の実現に向けたロードマップ

## 多様性・受容性に富んだ風土を育んできた豊島区の歴史

豊島区国際アート・カルチャー都市構想発表まで

豊島区は、江戸時代には江戸の園芸文化を開花させ、明治期以降は、関東大震災、戦争という大きな災厄を乗り越えて急激な人口増加を経験する中で、多様性に富む豊かな文化資源を生み出してきました。

サンシャインシティの開業、東京芸術劇場の開館など文化・交流施設の集積が進み、池袋副都心は急速に発展します。さらに東京メトロ副都心線の開通、東横線との相互運転が始まり、埼玉県や神奈川県からのアクセスが向上し、さらに利便性が高まっています。多様な人々を受け入れながら発展してきた豊島区は、そのような多様なものを受け容れる懐の深さを持ち、今も若者たちを魅きつける要因となっています。



## 国際アート・カルチャー都市構想実現までのロードマップ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後へ

